

平成 15 年3月期 決算短信 (連結)



平成15年5月 28日

会社名 小倉クラッチ株式会社
 コード番号 6408
 本社所在地 群馬県桐生市相生町 2 丁目 6 7 8
 U R L http://www.oguraclutch.co.jp

登録銘柄
 本社所在都道府県 群馬県

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 小倉 康宏
 問い合わせ先 責任者役職名 常務取締役 氏名 大竹 範夫

決算取締役会開催日 平成15年5月28日 TEL(0277)54-7101 (大代表)
 米国会計基準採用の有無 無

1. 15年3月期の連結業績(平成14年4月1日～平成15年3月31日)

(1) 連結経営成績 (百万円未満切捨)

	売上高	営業利益	経常利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %
15年3月期	43,707 (11.1)	1,382 (203.4)	1,256 (45.6)
14年3月期	39,327 (△ 9.6)	455 (△ 61.4)	863 (△ 52.6)

	当期純利益	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後1株 当たり当期純利益	株主資本 当期純利益率	総資本 経常利益率	売上高 経常利益率
	百万円 %	円 銭	円 銭	%	%	%
15年3月期	840 (322.5)	54 18	48 69	5.1	2.9	2.9
14年3月期	198 (△ 75.4)	12 87	11 38	1.2	2.0	2.2

- (注) 1. 持分法投資損益 15年3月期 26百万円 14年3月期 51百万円
 2. 期中平均株式数(連結) 15年3月期 15,084,335株 14年3月期 15,449,245株
 3. 会計処理の方法の変更 有
 4. 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前期増減率

(2) 連結財政状態 (百万円未満切捨)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
15年3月期	42,833	16,452	38.4	1,092 66
14年3月期	43,098	16,638	38.6	1,092 40

(注) 期末発行済株式数(連結) 15年3月期 15,057,600株 14年3月期 15,231,199株

(3) 連結キャッシュ・フローの状況 (百万円未満切捨)

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
15年3月期	△ 588	△ 3,034	1,003	5,489
14年3月期	1,899	△ 1,647	1,305	6,544

(4) 連結範囲及び持分法の適用に関する事項

連結子会社 8社 持分法適用非連結子会社数 - 社 持分法適用関連会社数 1社

(5) 連結範囲及び持分法の適用の異動状況

連結(新規) - 社 (除外) - 社 持分法(新規) - 社 (除外) - 社

2. 16年3月期の連結業績予想(平成15年4月1日～平成16年3月31日) (百万円未満切捨)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	21,700	838	450
通期	43,190	1,740	870

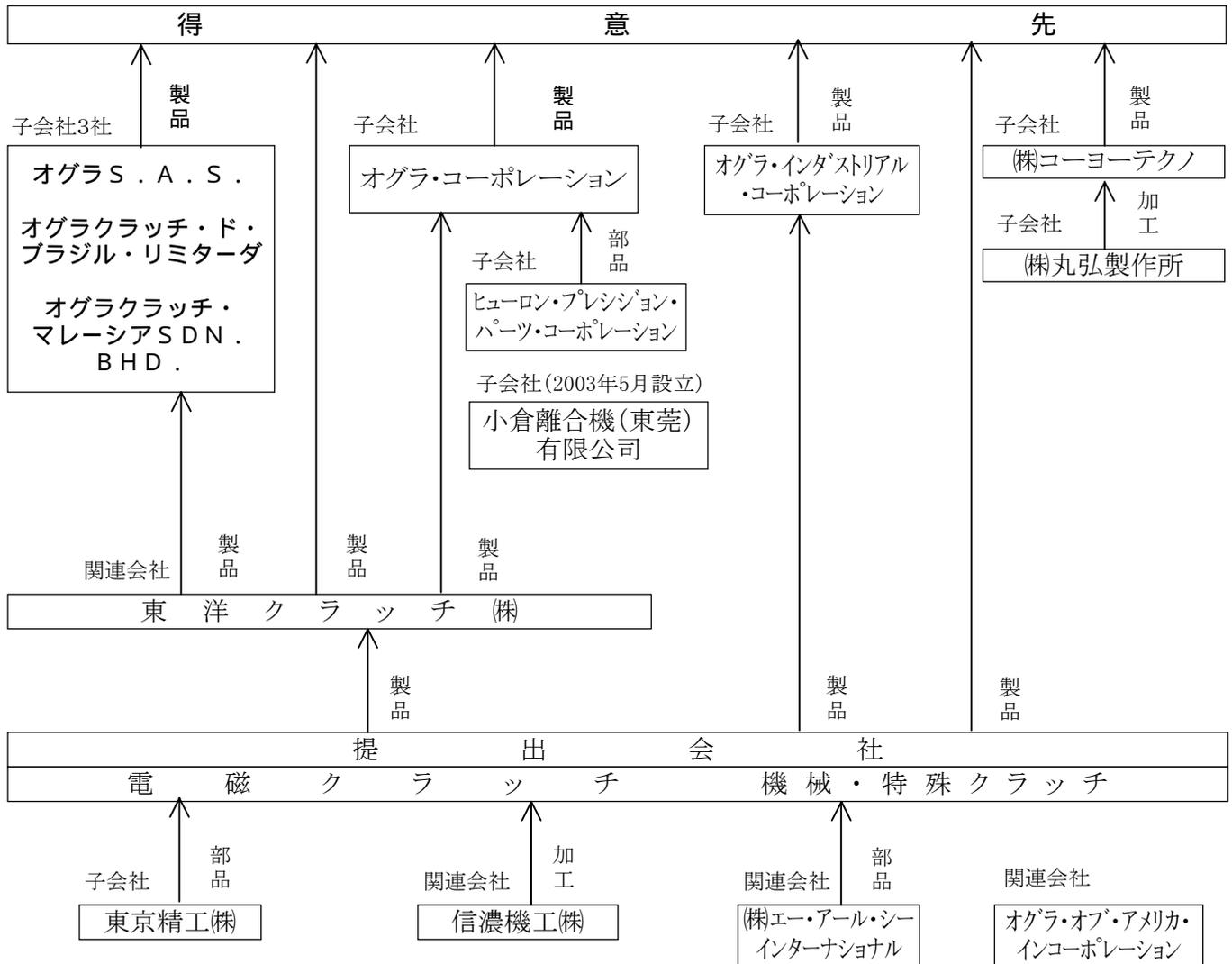
(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 57円 57銭

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、予想につきましては、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

1. 企業集団の状況

当企業グループは、提出会社、子会社9社及び関連会社4社で構成され、電磁クラッチ、機械・特殊クラッチ等の製造販売を主な事業内容としております。このうち電磁クラッチは、用途別には、車輛関係に使用する輸送機器用クラッチ、複写機関係に使用するマイクロクラッチ及び一般産業用クラッチに分けられ、その生産額に占める比率は99%強となっております。子会社9社（オグラ・コーポレーション、オグラS.A.S.、東京精工(株)、オグラ・インダストリアル・コーポレーション、オグラクラッチ・ド・ブラジル・リミターダ、ヒューロン・プレジジョン・パーツ・コーポレーション、(株)コーヨーテクノ、(株)丸弘製作所、オグラクラッチ・マレーシアSDN.BHD.）及び関連会社3社（信濃機工(株)、東洋クラッチ(株)、(株)エー・アール・シーインターナショナル）は全てこの機種関連の外注加工又は製造販売を行っております。

なお、小倉離合機（東莞）有限公司を中国市場で輸送機器用クラッチの製造販売を行うために2003年5月に設立しました。事業の系統図は次の通りであります。



関係会社の状況

名称	住所	資本金	主要な事業の内容	議 決 権 の 所 有 又 は 被 所 有 割 合	関係内容	適用
(連結子会社) オグラ・ コーポレーション	アメリカ合衆国 ミシガン州	千US\$ 15,480	輸送機器用ク ラッチの製造 販売	68.89%	当社製品の米国に おける製造販売を しております。 役員の兼任 3名	(注) 2・3
東京精工(株)	群馬県佐波郡	百万円 40	輸送機器用及 び一般産業 用・マイクロ クラッチの冷 間鍛造加工	100.00%	当社製品の冷間鍛 造加工をしてお ります。 役員の兼任 1名	
オグラ S . A . S .	フランス共和国 ノール県	千EUR 6,860	輸送機器用ク ラッチの製造 販売	100.00% (11.11%)	当社製品のフラン スにおける製造販 売をしております。 役員の兼任 2名	(注) 1・2
オグラクラッチ・ ド・ブラジル・ リミターダ	ブラジル連邦共和国 サンパウロ州	千R\$ 16,350	輸送機器用ク ラッチの製造 販売	100.00% (49.00%)	当社製品のブラジ ルにおける製造販 売をしております。 役員の兼任 2名	(注) 1・2
オグラ・ インダストリアル・ コーポレーション	アメリカ合衆国 ニュージャージー州	千US\$ 1,000	輸送機器用及 び一般産業 用・マイクロ クラッチの販 売	80.00%	当社製品の米国に おける販売を しております。	
ヒューロン・ プレジジョン・ パーツ・ コーポレーション	アメリカ合衆国 ミシガン州	千US\$ 14,000	輸送機器用ク ラッチ部品の 製造販売	100.00% (80.00%)	提出会社との直接 取引はありませ ん。 役員の兼任 3名	(注) 1・2
オグラクラッチ・ マレーシア S D N . B H D .	マレーシア セランゴール州	千RM 9,000	輸送機器用ク ラッチの製造 販売	100.00%	当社製品のマレー シアにおける製造 販売をしております。 役員の兼任 3名	(注) 2
(株)コーヨーテクノ	茨城県北茨城市	百万円 91	輸送機器用ク ラッチ及び部 品の製造	66.64%	当社製品ならびに 当社製品の部品製 造・加工をしてお ります。 役員の兼任 4名	

名称	住所	資本金	主要な事業の内容	議 決 権 の 所 有 又 は 非 所 有 割 合	関係内容	適用
(持分法適用関連会社) 東洋クラッチ(株)	東京都品川区	百万円 100	卸販売業	50.00%	当社製品の販売代理店をしております。 役員の兼任 3名	

(注) 1. 「議決権の所有又は非所有割合」欄の(内書)は間接所有であります。

2. 特定子会社であります。

3. 売上高(連結会社相互間の内部売上高を除く)の連結売上高に占める割合が10%を超えておりますが、当該連結子会社の売上高(セグメント間の内部売上高又は振替高を含む)の割合が、所在地別セグメント情報の北米及び南米における売上高の90%を超えるため、主要な損益情報等の記載を省略しております。

4. 2003年5月に設立した小倉離合機(東莞)有限公司の状況は次の通りであります。

名 称	小倉離合機(東莞)有限公司
住 所	中華人民共和国 広東省
資 本 金	3,500千US\$
主要な事業の内容	輸送機器用クラッチの製造販売
議決権の所有 又は非所有割合	100.00%
関 係 内 容	当社製品の中国における製造販売を予定しております。

2. 経営方針

(1) 経営の基本方針

当企業グループの経営方針は、毎年見直しを行い、時宜に合ったものを提唱しております。平成15年度は下記の経営方針を掲げてあります。

1. 顧客満足と社員満足を追求して社会と共生

得意先・エンドユーザーに対する顧客満足の最大化を目指し、お客様第一主義を鮮明に打ち出すと共に、社員は日常業務だけに追われるのではなく、ゆとりを確保した上で、能力開発をして力に応じ分担した仕事の成果を正しく評価し、仕事に対するやり甲斐・満足感を持てるようにします。さらには、顧客満足と社員満足だけでなく、地域社会に密着して奉仕し、社会的公器としての役割を果たせるように目指します。

2. トータル技術力を強化しシェアアップで事業を拡大

メーカーとして重要な要素である設計技術・生産技術・情報技術・生産管理・品質管理等の総合技術力を強化し、QCDの向上に努めるとともに、既存事業の充実と事業領域の新規拡大を図ります。

3. グローバル最適性を実現し世界市場で発展

最適経営資源配分により、最適調達・最適供給を実現するグローバル戦略を今後も継続します。そして、グローバルに促えた市場においてマーケットシェアを追求し、シェアアップ活動を継続してオンリーワン・メーカーを目指します。

(2) 利益配分に関する基本方針

当社は、業績に対応しつつも中・長期的な安定配当を行うことを基本として、将来の利益確保のため内部留保を充実させ、株主各位の利益還元のご期待に添うべく努力してまいります。

内部留保致しております資金につきましては、設備投資その他の経営活動資金として有効活用を図り、企業体質を強化し、将来的に収益の向上を通して株主の皆様へ還元する所存であります。

(3) 対処すべき課題

国内外の自動車メーカーの合併や提携が世界的な規模で行われるなか、当企業グループとしては、日・米・欧の自動車業界の動向を睨みつつ、最重要課題としてグローバル化を進めております。世界の工場として急成長を続ける中国は、大きな需要が期待できる場所でもありますので、マレーシアに続き、子会社を設立し工場建設を計画しております。日本・アメリカ・フランス・ブラジル・マレーシア・中国の各生産拠点の利点を生かし、世界最適地生産による製品の供給体制を構築してまいります。

また、当期の9月には平成11年8月に発行しました転換社債の償還期限を控えており、必要な資金の手当てを着実にっております。

(4) コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方及びその実施状況

当社は、企業倫理の確立と遵法精神に基づき、経営の透明性の確立並びに経営の公正迅速な意思決定に努めるべく以下の諸施策を実施しております。

- ・取締役会は月1回開催し、重要事項の決定、業務執行状況の監督を行っております。又、取締役会の決定した基本方針に基づき意思決定の迅速化と業務運営の効率化を図ることを目的として役付取締役を中心とした常務会を月1回開催し、重要な業務執行に対応しております。
- ・社長直属の組織として社長室に内部監査課を設け、内部監査機能の強化を図っております。
- ・経営の透明性と適時開示に努めて参りましたが、情報開示の一層の充実を図るべく今年度より四半期情報の開示を計画しております。

(5) 関連当事者との関係に関する基本方針

該当事項はありません。

3. 経営成績

(1) 当連結会計年度の概況

業績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、一時的には景気の持ち直しの動きが見えてまいりましたが、金融不安による株価の大幅な下落やデフレ経済の蔓延により、企業の設備投資意欲の減退と個人消費の低迷が続いております。また、世界的な株価の低迷やドル安に加え、イラク情勢を巡る国際情勢が不安定のなか、世界経済は先行きに不透明感を残し推移いたしました。

当社製品の主要需要先である自動車業界におきましては、国内はコンパクトカーの投入による好調な販売を確保し、国内の自動車メーカーの輸出増による増産効果もあり、売上高は増加に転じました。一方、海外における自動車販売は、経済情勢の悪化などにより、総じて不振でした。

このような状況のもとで、当企業グループは積極的な販売活動を行った結果、輸送機器用クラッチ部門は国内の自動車販売に牽引され好調に推移し、前連結会計年度に比べ13.3%の売上増となりました。また、マイクロクラッチ・一般産業用クラッチ部門は、企業の設備投資が回復しない厳しい状況下、OA事業向け需要が減少したものの、自動車分野への用途拡大による需要が増加したことに加え、モーター関連業界向けの需要が復調し、前連結会計年度に比べ2.1%の売上増となりました。

結果として、当連結会計年度の売上高は前連結会計年度と比べて11.1%増の43,707百万円に達しました。利益面におきましては、依然厳しいコストダウン要求はあるものの、生産性の向上や原価低減活動の推進、及び操業度の上昇により、営業利益は前連結会計年度と比べて、203.4%増の1,382百万円に、経常利益は45.6%増の1,256百万円に、当期純利益も322.5%増の840百万円となりました。

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度において現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、2,696百万円減少し、当連結会計年度末には5,489百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により資金は、588百万円の減少(前連結会計年度は1,899百万円の増加)となりました。これは、前連結会計年度においては、税金等調整前当期純利益が607百万円、その他の要因を含め資金の増加となりましたが、当連結会計年度においては、税金等調整前当期純利益が1,471百万円と前連結会計年度に比べ増加となりましたが、役員退職慰労引当金の減少、売上債権の増加、その他の要因を含め資金の減少となったものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により資金は、3,034百万円の減少(前連結会計年度は1,647百万円の減少)となりました。これは、前連結会計年度における設備投資が、主に機械装置等の更新及び、北米子会社の工場建設に伴う支出の一部であったのに対し、当連結会計年度においては、前連結会計年度に引き続き北米子会社の工場建設に伴う支出、また、新たにマレーシア子会社の工場建設に伴う支出の発生、その他の要因により資金の減少となったものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により資金は、1,003百万円の増加(前連結会計年度は1,305百万円の増加)となりました。これは、前連結会計年度においては、提出会社における期日一括弁済長期資金の借入等により資金の増加となりましたが、当連結会計年度においては、提出会社において、マレーシア子会社出資資金、運転資金及び転換社債償還資金の借入等により資金の増加となったものであります。

(3) 次期の業績見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス(SARS)の影響や長引くデフレ不況により、景気の先行きに対して不透明な要因が多く、景気の本格的な回復は期待できないものと予想されます。このような状況の中で、当企業グループは徹底した原価低減を実施し、中国子会社工場を早期に立ち上げ、世界最適地生産を図る予定であります。

来期の業績予想につきましては、売上高は43,190百万円(前連結会計年度比1.2%減)、経常利益は1,740百万円(前連結会計年度比38.4%増)、当期純利益は870百万円(前連結会計年度比3.5%増)を予想しております。

4. 連結財務諸表等
 (1) 連結財務諸表
 連結貸借対照表

(単位：百万円)

期 別 科 目	前連結会計年度 (平成14年3月31日現在)		当連結会計年度 (平成15年3月31日現在)		比較増減 (印減少)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	額
(資産の部)		%		%		
流動資産						
1. 現金及び預金	8,185		5,489		△ 2,696	
2. 受取手形及び売掛金 (注5)	10,512		13,153		2,640	
3. 有価証券	156		372		215	
4. たな卸資産	7,002		6,710		△ 291	
5. 繰延税金資産	358		500		141	
6. その他 貸倒引当金	550 △ 55		679 △ 29		128 26	
流動資産合計	26,711	62.0	26,876	62.7	165	
固定資産						
1. 有形固定資産 (注2)						
(1) 建物及び構築物 (注3・4)	3,585		4,671		1,085	
(2) 機械装置及び運搬具 (注4)	3,679		4,692		1,013	
(3) 土地 (注3)	2,000		2,372		371	
(4) 建設仮勘定	2,478		107		△ 2,371	
(5) その他 (注4)	638		661		22	
有形固定資産合計	12,382	28.7	12,504	29.2	122	
2. 無形固定資産	188	0.4	157	0.4	△ 30	
3. 投資その他の資産						
(1) 投資有価証券 (注1)	2,814		2,624		△ 190	
(2) 繰延税金資産	256		104		△ 152	
(3) その他 貸倒引当金	750 △ 5		569 △ 2		△ 181 3	
投資その他の資産合計	3,816	8.9	3,295	7.7	△ 521	
固定資産合計	16,387	38.0	15,957	37.3	△ 430	
資産合計	43,098	100.0	42,833	100.0	△ 264	

(単位：百万円)

期 別 科 目	前連結会計年度 (平成14年3月31日現在)		当連結会計年度 (平成15年3月31日現在)		比較増減 (印減少)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	
		%		%		
(負債の部)						
流動負債						
1. 支払手形及び買掛金	11,262		11,060		△ 202	
2. 短期借入金 (注3)	1,925		2,774		848	
3. 1年以内に償還する転換社債	-		3,000		3,000	
4. 未払法人税等	284		385		101	
5. 賞与引当金	467		430		△ 36	
6. 設備関係支払手形	1,003		70		△ 933	
7. その他	928		1,036		107	
流動負債合計	15,872	36.8	18,758	43.8	2,885	
固定負債						
1. 転換社債	3,000		-		△ 3,000	
2. 長期借入金 (注3)	4,532		5,067		534	
3. 繰延税金負債	13		144		131	
4. 役員退職慰労引当金	727		272		△ 454	
5. 退職給付引当金	61		127		65	
6. 連結調整勘定	54		52		△ 2	
7. その他	107		144		37	
固定負債合計	8,496	19.7	5,808	13.6	△ 2,687	
負債合計	24,369	56.5	24,566	57.4	197	
(少数株主持分)						
少数株主持分	2,090	4.8	1,814	4.2	△ 275	
(資本の部)						
資本金	1,858	4.3	-	-	-	
資本準備金	1,798	4.2	-	-	-	
連結剰余金	12,607	29.3	-	-	-	
その他有価証券評価差額金	206	0.5	-	-	-	
為替換算調整勘定	321	0.7	-	-	-	
計	16,792	39.0	-	-	-	
自己株式	△ 154	△ 0.4	-	-	-	
資本合計	16,638	38.6	-	-	-	
資本金 (注6)	-	-	1,858	4.3	-	
資本剰余金	-	-	1,798	4.2	-	
利益剰余金	-	-	13,241	30.9	633	
その他有価証券評価差額金	-	-	176	0.4	△ 29	
為替換算調整勘定	-	-	△ 388	△ 0.9	△ 709	
計	-	-	16,687	39.0	△ 105	
自己株式 (注7)	-	-	△ 234	△ 0.5	△ 80	
資本合計	-	-	16,452	38.4	△ 185	
負債、少数株主持分及び資本合計	43,098	100.0	42,833	100.0	△ 264	

連結損益計算書

(単位：百万円)

期 別 科 目	前連結会計年度 (自 平成13年4月 1日 至 平成14年3月31日)			当連結会計年度 (自 平成14年4月 1日 至 平成15年3月31日)			比較増減 (印減少)	
	金 額		百分比	金 額		百分比	金 額	
			%			%		
売上高		39,327	100.0		43,707	100.0		4,379
売上原価 (注2)		34,492	87.7		37,487	85.8		2,994
売上総利益		4,834	12.3		6,219	14.2		1,385
販売費及び一般管理費 (注1・2)		4,378	11.1		4,836	11.1		458
営業利益		455	1.2		1,382	3.2		927
営業外収益								
1. 受取利息	139			60			△	79
2. 受取配当金	10			13				3
3. 為替差益	295			-			△	295
4. 連結調整勘定償却額	-			2				-
5. 持分法による投資利益	51			26			△	25
6. その他	105	602	1.5	129	232	0.5	24	△ 369
営業外費用								
1. 支払利息	89			129				40
2. 租税公課	7			2			△	5
3. クレーム補償費	34			-			△	34
4. 手形売却損	-			18				18
5. 為替差損	27			123				96
6. その他	35	194	0.5	83	357	0.8	48	163
経常利益		863	2.2		1,256	2.9		393
特別利益								
1. 固定資産売却益 (注3)	0			0			△	0
2. 貸倒引当金戻入額	25			19			△	5
3. 生命保険金	-	26	0.1	670	690	1.6	670	664
特別損失								
1. 固定資産除却損 (注4)	32			16			△	15
2. 固定資産売却損 (注5)	1			3				1
3. 投資有価証券売却損	9			3			△	6
4. 投資有価証券評価損	31			60				28
5. 退職給付会計変更時差異償却	200			200				-
6. 役員退職慰労金	-			190				190
7. 会員権評価損	5	281	0.7	1	475	1.1	△	3 194
税金等調整前当期純利益		607	1.5		1,471	3.4		863
法人税、住民税及び事業税	414			465				50
法人税等調整額	△ 56	357	0.9	160	625	1.4	217	268
少数株主利益		51	0.1		5	0.0		△ 45
当期純利益		198	0.5		840	1.9		641

連結剰余金計算書

(単位：百万円)

期 別 科 目	前連結会計年度 〔自 平成13年4月 1日〕 〔至 平成14年3月31日〕		当連結会計年度 〔自 平成14年4月 1日〕 〔至 平成15年3月31日〕	
	金 額		金 額	
連結剰余金期首残高		12,621		-
連結剰余金減少高				
1. 配当金	186		-	
2. 役員賞与	27	213	-	-
当期純利益		198		-
連結剰余金期末残高		12,607		-
(資本剰余金の部)				
資本剰余金期首残高		-		1,798
資本剰余金期末残高		-		1,798
(利益剰余金の部)				
利益剰余金期首残高		-		12,607
利益剰余金増加高				
当期純利益	-	-	840	840
利益剰余金減少高				
1. 配 当 金	-	-	182	
2. 役 員 賞 与	-	-	23	206
利益剰余金期末残高		-		13,241

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

期 別 科 目	前連結会計年度 〔 自 平成13年4月 1日 〕 〔 至 平成14年3月31日 〕	当連結会計年度 〔 自 平成14年4月 1日 〕 〔 至 平成15年3月31日 〕	比較増減 (印減少)
	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 税金等調整前当期純利益	607	1,471	863
2. 減価償却費	1,572	1,464	△ 108
3. 有形固定資産除却損	32	16	△ 15
4. 連結調整勘定償却額	-	△ 2	△ 2
5. 貸倒引当金の増加額(減少額)	△ 25	△ 27	△ 2
6. 賞与引当金の増加額(減少額)	△ 10	△ 36	△ 26
7. 退職給付引当金の増加額(減少額)	43	65	22
8. 役員退職慰労引当金の増加額(減少額)	142	△ 454	△ 596
9. 受取利息及び受取配当金	△ 150	△ 73	76
10. 支払利息	89	129	40
11. 為替差益	△ 2	△ 4	△ 2
12. 持分法による投資利益	△ 51	△ 26	25
13. 有形固定資産売却益	△ 0	△ 0	0
14. 有形固定資産売却損	1	3	1
15. 投資有価証券売却損	9	3	△ 6
16. 投資有価証券評価損	31	60	28
17. 会員権評価損	5	1	△ 3
18. 売上債権の減少額(増加額)	1,469	△ 2,985	△ 4,455
19. たな卸資産の減少額(増加額)	1,462	41	△ 1,421
20. その他資産の減少額(増加額)	△ 68	16	84
21. 仕入債務の増加額(減少額)	△ 2,266	△ 11	2,255
22. 未払消費税等の増加額(減少額)	△ 54	94	148
23. その他負債の増加額(減少額)	△ 309	180	489
24. 役員賞与の支払額	△ 27	△ 24	3
小 計	2,502	△ 98	△ 2,601
25. 利息及び配当金の受取額	174	98	△ 76
26. 利息の支払額	△ 87	△ 130	△ 43
27. 法人税等の支払額	△ 690	△ 457	232
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,899	△ 588	△ 2,487
投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 定期預金の払戻による収入	150	-	△ 150
2. 有価証券の取得による支出	△ 75	△ 76	△ 0
3. 有価証券の売却等による収入	158	100	△ 58
4. 有形固定資産の取得による支出	△ 2,368	△ 2,951	△ 583
5. 有形固定資産の売却による収入	48	56	7
6. 投資有価証券の取得による支出	△ 682	△ 235	446
7. 投資有価証券の売却等による収入	848	6	△ 841
8. 貸付金の実行による支出	△ 132	△ 110	22
9. 貸付金の回収による収入	29	21	△ 7
10. 新規連結会社㈱コ-ノ-テカ取得による収入 (注2)	341	-	△ 341
11. その他投資活動による収入(支出)	35	154	118
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,647	△ 3,034	△ 1,386
財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 短期借入による収入	1,709	2,544	834
2. 短期借入金の返済による支出	△ 1,790	△ 1,893	△ 103
3. 長期借入による収入	2,527	1,550	△ 977
4. 長期借入金の返済による支出	△ 744	△ 885	△ 140
5. 自己株式の取得による支出	△ 149	△ 68	81
6. 自己株式の売却による収入	1	-	△ 1
7. 親会社による配当金の支払額	△ 185	△ 185	0
8. 少数株主への配当金の支払額	△ 63	△ 58	5
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,305	1,003	△ 302
現金及び現金同等物に係る換算差額	334	△ 76	△ 411
現金及び現金同等物の増加額	1,891	△ 2,696	△ 4,587
現金及び現金同等物の期首残高	4,652	8,185	3,532
現金及び現金同等物の期末残高 (注1)	6,544	5,489	△ 1,055